

# 令和4年度「人権を確かめあうアンケート」の結果を受けて

奈良県教育委員会

## 1. いじめと感じるようなことをされて嫌な気持ちになったこと、させたことについて

○嫌な気持ちになったことがあるか

	小学校	中学校	高等学校
ある	10,592人	1,507人	380人
ない	41,384人	23,451人	16,759人

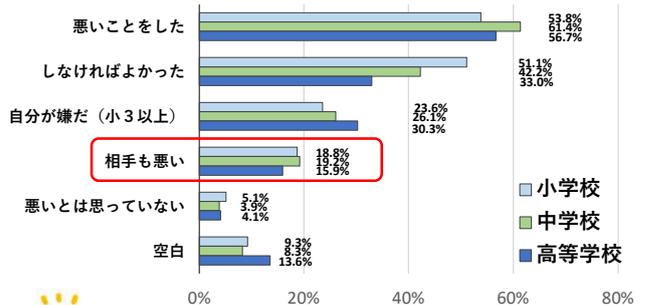
○嫌な気持ちにさせたことがあるか

	小学校	中学校	高等学校
ある	3,476人	683人	161人
あるかもしれない	8,494人	2,840人	855人
ない	40,006人	21,435人	16,123人

○嫌な気持ちになったことがある児童生徒のうち、嫌な気持ちにさせたことがある（あるかもしれない）児童生徒



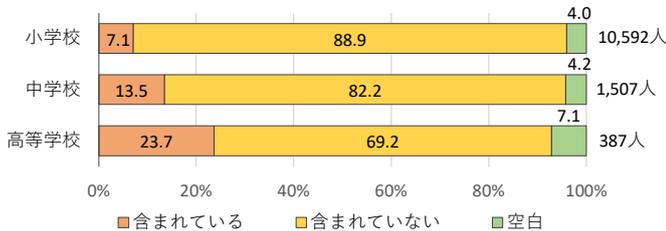
○嫌な気持ちにさせたことに対する気持ち（複数回答）



- ・嫌な気持ちにさせた児童生徒の約2割が「相手も悪い」と思っている
- ・嫌な気持ちになったことがある児童生徒は、一定数、嫌な気持ちにさせたことがある（あるかもしれない）経験もしている

嫌な気持ちになった側、させた側、どちらの児童生徒もともに成長できるよう継続した支援を！

○嫌な気持ちになったことについて、ネット上でされたことが含まれているか

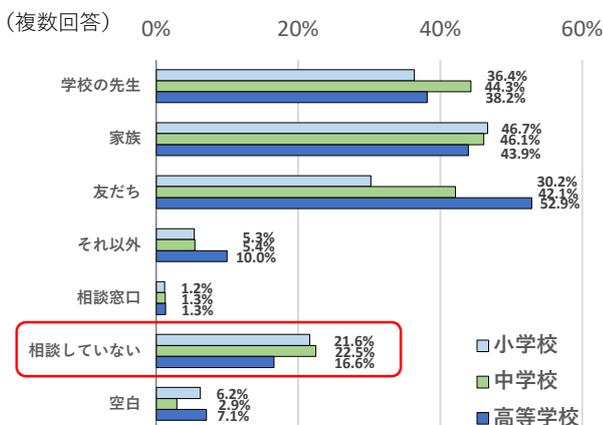


嫌な気持ちになったことについて、学校段階が進むにつれ、ネット上でされたことが含まれている割合が増加する

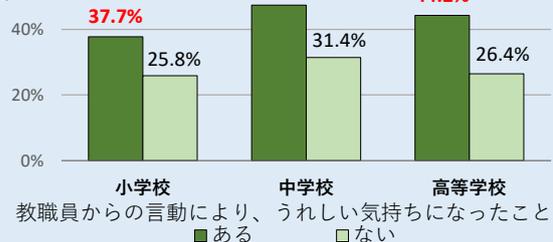
「画面の向こうにいる人」の気持ちを大切に、ICTを活用した教育を！

## 2. 相談の状況について

○いじめと感じるような嫌な気持ちになったことの相談先



「いじめと感じるような嫌な気持ちを先生に相談した」を選択した割合



教職員からの言動により、うれしい気持ちになったことがある児童生徒は、先生に相談している割合が高い

全校種において、約2割の児童生徒がいじめと感じるような嫌な気持ちになったことを相談していない

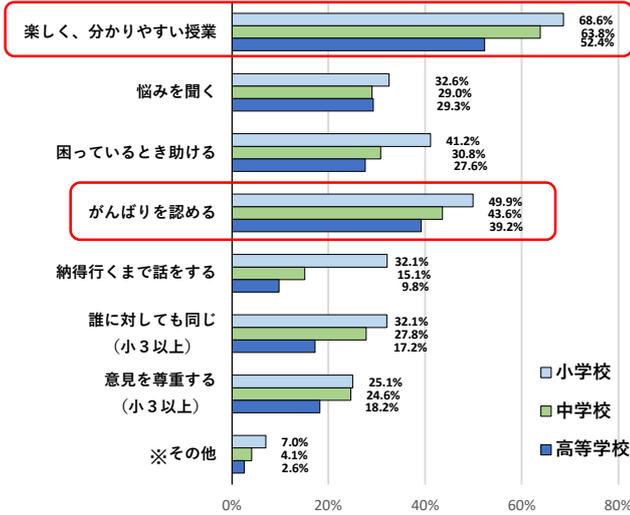
児童生徒が相談しやすい環境づくりを！

子ども支援サイト「みんなのぼかぼかランド」では、子どもたちのための各種相談窓口を紹介しています。



### 3. 教職員と児童生徒との関わりについて

○教職員からの言動により、うれしい気持ちになったことの内容  
(複数回答)

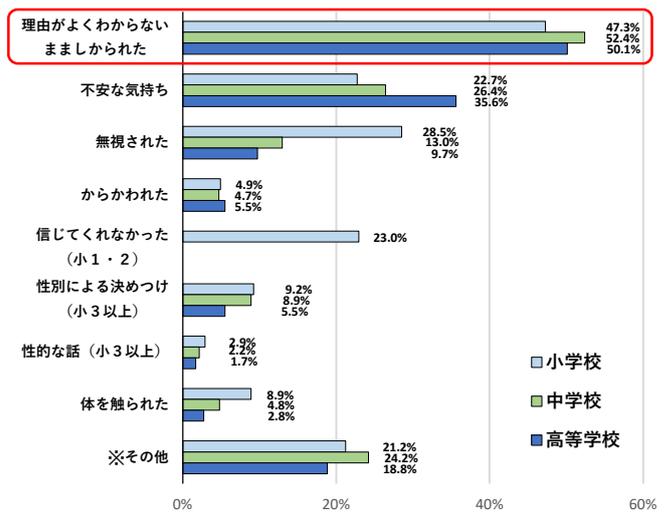


※・一緒に遊んでくれた。楽しいことをしてくれた。  
・しんどいときに声をかけてくれた。優しくしてくれた。  
・話を聞いてくれた。進路の相談に乗ってくれた。 等

児童生徒は教職員に対して大いに期待し、「楽しく、分かりやすい授業」や「頑張りを認めてもらうこと」等を求めている

児童生徒が「知る楽しさ」「できる喜び」を積み重ねる活動や、自己肯定感を高める取組を！

○教職員からの言動により、嫌な気持ちになったことの内容  
(複数回答)



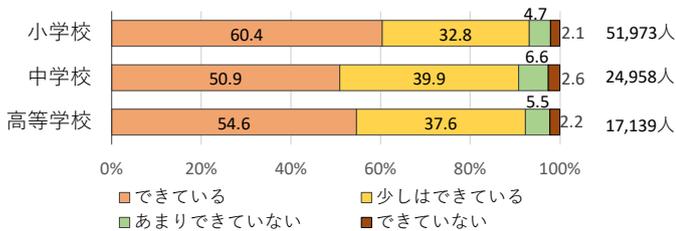
※・理不尽に怒られた。大声でみんなの前で叱られた。  
・平等に接してくれない。男女で関わり方が違う。  
・勝手に決めつけられた。話を信じてくれなかった。 等

教職員からの言動により、嫌な気持ちになったことがある児童生徒のうち、約半数が「理由がよくわからないまま、しかられた」と感じている

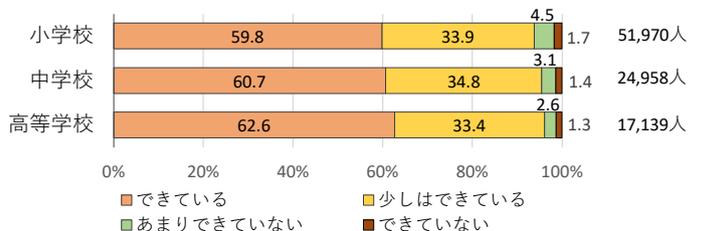
児童生徒の言葉や行動をその背景も含めて理解し、「傾聴」と「対話」を大切にした関係づくりを！

### 4. 多様性を尊重する教育について

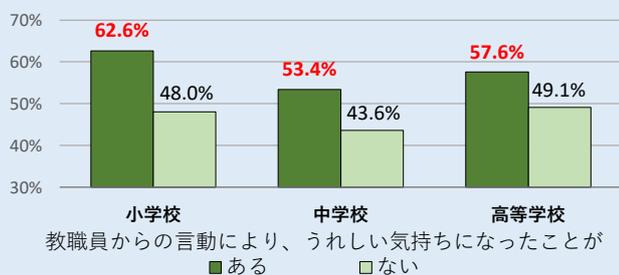
○周りの人たちは、ちがいを認め合うことができているか



○自分は、ちがいを認めることができているか



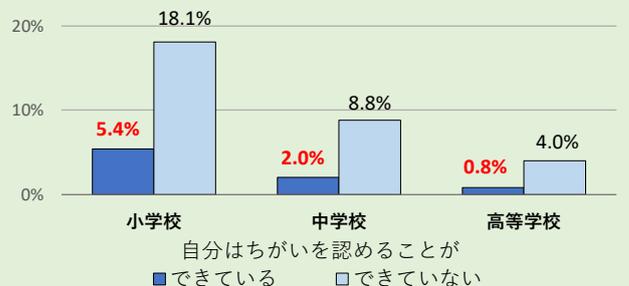
「周りの人たちは、ちがいを認め合うことができている」を選択した割合



教職員からの言動でうれしいことがある児童生徒は、ちがいを認め合うことができていると感じている割合が高い

- ・教職員からのうれしい言動により、多様性を尊重する態度が養われる
- ・児童生徒が「ちがいを認める」ようになることによって、相手を嫌な気持ちにさせる言動の減少につなげることができる

「相手を嫌な気持ちにさせたことがある」を選択した割合



自分はちがいを認めることができていると回答した児童生徒は、相手を嫌な気持ちにさせたことがある割合が低い

一人一人のちがいを豊かさと捉える取組を！